

一般社団法人日本受精着床学会  
会員各位

平素より当会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、こども家庭科学研究「精子または卵子の第三者提供による生殖補助医療の適正な実施に向けた研究（研究代表：大須賀穰）」の一環として、全国の生殖補助医療施設を対象としたアンケート調査を実施しております。

本調査結果は、今後国が策定する第三者配偶子を用いた生殖医療に関する法律・規則の資料となる可能性が高く、会員の皆様のご意見が反映される貴重な機会となります。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（日本受精着床学会事務局）

## こども家庭科学研究「第三者提供の精子または卵子を用いた生殖補助医療の適正な実施に向けた全国の生殖補助医療実施施設に対する意識調査」のご協力をお願い

この意識調査は、第三者提供による精子または卵子を用いた生殖補助医療（特定生殖補助医療）を適正に実施するためのものです。日本産科婦人科学会に登録されている全国のART実施施設を対象として、今後策定される指針に反映すべき事項について、各施設のご意見・ご認識についてアンケート調査を行っております。

対象施設の皆様にはすでにアンケートを送付しております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本研究の趣旨をご理解の上ご協力いただける場合は、施設代表者の方が「同意の有無」の欄にご記入いただき、施設としてのご意見をアンケートにご記載ください。

ご記入後は、同封の返信用封筒にて令和7年12月5日までに東京大学産婦人科学教室宛にご返送くださいますようお願い申し上げます。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

令和7年11月10日

研究責任者：帝京大学臨床研究センター	教授、センター長	大須賀 穰
研究担当者：東京大学大学院医学系研究科産婦人科学	教授	原田 美由紀
東京大学医学部附属病院女性外科	助教	高橋 望
東京大学大学院医学系研究科・医学部研究倫理支援室	特任助教	小池 洋